

環境

環境マネジメント

環境基本方針

有

「JR九州グループ地球環境への取り組み」に含む
<https://www.jrkyushu.co.jp/company/esg/environment/>

指標	データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
エコロジー委員会開催回数（各専門部会含む）※1	単体:JR九州	回	6	-	-
ESG戦略委員会開催回数（各専門部会含む）※2	単体:JR九州	回	2	7	7
ISO 14001 認証取得数※3	連結:JR九州グループ	件	3	3	3
ISO 14001 認証取得率※4	単体:JR九州	%	10	10	9

※1 環境保全への対策を継続的に進めるため、基本方針などの必要事項の審議・決定を行う社長を委員長とする機関。2021年8月にESG戦略委員会に統合

※2 2022年3月期はエコロジー委員会の開催回数を含む

※3 小倉総合車両センター及びグループ会社（うち1社は小倉総合車両センター関連事業所として取得）3社が認証を取得

※4 鉄道車両の検査・修繕を実施する11箇所の事業所のうち、小倉総合車両センターで認証取得

気候変動

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
GHG排出量	Scope 1	CO ₂	千t-CO ₂	49	52	73
		フロン※3	千t-CO ₂	1	0	0
		計	千t-CO ₂	50	53	74
	Scope 2		千t-CO ₂	249	260	234
	計		千t-CO ₂	300	313	309
GHG排出量 ※再掲	Scope 1	CO ₂ ※4	千t-CO ₂	41	43	44
		フロン※3	千t-CO ₂	1	0	0
		計	千t-CO ₂	42	44	45
	Scope 2※4		千t-CO ₂	208	216	175
	計		千t-CO ₂	250	261	220
GHG排出量	Scope 3	単体:JR九州	千t-CO ₂	435	558	596
GHG排出量原単位※2		単体:JR九州	千t-CO ₂ /百万円	0.001727	0.001450	0.001039
省エネ型車両の導入割合		単体:JR九州	%	80.1	80.0	85.0

※1 2023年3月期より、集計範囲をグループ全体（国内）に拡大

※2 GHG排出量原単位 = GHG排出量/営業収益

※3 「0」は1,000t-CO₂未満

※4 2023年3月期より、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン（株）社による独立した第三者保証を取得

エネルギー使用量

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
電気使用量		連結:JR九州グループ ^{※1}	千kWh	701,566	695,590	752,370
ガス使用量			千m ³	3,564	3,750	5,547
蒸気・温水・冷水使用量			GJ	67,225	59,366	132,111
その他燃料使用量 ^{※2}			千kl	15	16	22
総エネルギー使用量			原油換算千kl	202	201	226
電気使用量 ※再掲	鉄道部門	単体:JR九州	千kWh	580,317	569,629	567,807
	その他		千kWh	15,469	17,846	16,563
計			千kWh	595,786	587,476	584,370
ガス使用量 ※再掲			千m ³	227	224	234
その他燃料使用量 ^{※2} ※再掲			千kl	15	16	16
総エネルギー使用量 ※再掲			原油換算千kl	168	167	167

※1 2023年3月期より、集計範囲をグループ全体（国内）に拡大

※2 軽油、A重油、一般炭、灯油使用量の合計

資源

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
取水 ^{※1,2}		連結:JR九州グループ	千m ³	2,225	2,885	3,108
取水 ^{※再掲}		単体:JR九州	千m ³	663	631	622
水ストレスが高い地域の事業所 ^{※3}		連結:JR九州グループ	箇所数	0	0	0
OA用紙使用量 ^{※4}		単体:JR九州	千枚 ^{※5}	29,411	19,782	16,051

※1 2021年3月期より、グループ会社の集計範囲を拡大

※2 2021年3月期、2022年3月期の取水出量について、遡及して修正

※3 「Aqueduct Water Risk Atlas」を用いて当社グループの事業地域における水ストレス調査を実施（「High Risk」以上を水ストレスが高い地域に分類）

※4 2023年3月期においてOA用紙使用量を対前年△10%とする目標を設定

※5 A4サイズ換算

廃棄物

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
有害廃棄物排出量・移動量	石綿	単体:JR九州 ^{※1}	kg	8,300.0	13,000.0	8,700.0
	エチルベンゼン		kg	1,500.0	1,400.0	1,600.0
	キシレン		kg	1,800.0	1,700.0	1,800.0
	スチレン		kg	4,700.0	4,900.0	4,900.0
	トルエン		kg	3,236.9	3,203.4	2,948.7
	メチルナフタレン		kg	37.9	36.3	30.0
産業廃棄物排出量 ^{※2}		連結:JR九州グループ	千 t	66	83	86
制服のリサイクル量 ^{※3}		単体:JR九州	t	2	4	3

※1 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に基づき行政に排出量・移動量を届け出た2事業所における対象物質を対象

※2 2021年3月期より、グループ会社の集計範囲を拡大

※3 2022年3月期のリサイクル量について、遡及して修正

社会

鉄道事業の営業成績

指標	データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
営業キロ	単体:JR九州	キロ	2,273	2,273	2,342
客車走行キロ	単体:JR九州	千キロ	267,621	267,060	263,852
輸送人員	単体:JR九州	千人	251,050	267,590	296,568
輸送人キロ	単体:JR九州	千人キロ	5,564,720	6,132,570	7,423,873
乗車効率	単体:JR九州	%	19.8	21.5	27.0
駅数	単体:JR九州	駅	568	568	571
車両数	単体:JR九州	両	1,671	1,674	1,663
電化率	単体:JR九州	%	59	59	58

安全

安全方針 有 「安全報告書」に含む
<https://www.irkyushu.co.jp/company/esg/safety/>

指標	データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
安全推進委員会開催数 ^{※1}	単体:JR九州	回	12	12	12
鉄道に従事する従業員の労働災害発生件数	連結:JR九州グループ	件	81	87	93
安全に関する社員の声の件数 ^{※2}	単体:JR九州	件	11,102	11,846	10,580
鉄道事業における安全投資額	単体:JR九州	億円	159	187	141
鉄道事業における安全に関する修繕費	単体:JR九州	億円	263	259	257
鉄道運転事故件数 ^{※3}	単体:JR九州	件	22	23	30
輸送障害件数 ^{※4}	単体:JR九州	件	547	471	422

※1 安全についての取り組みや対策を審議、推進するための会議

※2 従業員から提出された安全に関する意見や気づき、ヒヤリハット体験の件数

※3 列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故の合計

※4 鉄道運転事故以外の原因により列車の運休または旅客列車が30分以上、旅客列車以外の列車が1時間以上の遅延を生じた件数

サービス

指標	データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	
サービスを社風にする委員会開催数 ^{※1}	単体:JR九州	回	11	11	11	
お客さまからのご意見・ご要望の件数	単体:JR九州	件	6,656	6,583	12,264	
お客さまからいただいたお礼・お褒めの件数	単体:JR九州	件	1,505	1,558	1,526	
ありがとうカード総数 ^{※2}	単体:JR九州	件	69,399	58,482	59,638	
サービス座談会 ^{※3}	開催数	単体:JR九州	回	1	2	2
	参加人数	単体:JR九州	人	12	23	23

※1 サービスについての取り組みや改善を審議、推進するための会議

※2 従業員間で感謝の気持ちを伝え合うカードの授受件数

※3 優れたサービスを実践した従業員と社長執行役員との意見交換会

人づくり・価値創造

指標	データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
従業員一人あたりの研修時間	単体:JR九州	時間	17.0	17.5	15.2
社外教育機関への派遣人数 ^{※1}	単体:JR九州	人	4	6	8
改善提案表彰(個人)件数 ^{※2}	単体:JR九州	件	15	16	13
改善アイデアBOX登録件数(従業員一人あたり) ^{※3}	単体:JR九州	件	1.2	1.2	0.9
創意工夫功労者賞受賞件数 ^{※4}	単体:JR九州	件	0	1	1
JR九州英語塾への参加人数 ^{※5}	単体:JR九州	人	152	98	57

※1 MBA取得を目的とした国内・海外のビジネススクールへの派遣及び立命館アジア太平洋大学、ビジネス・ブレークスルー大学への派遣人数(当該年度に新たに派遣を開始した人数)

※2 社内表彰(従業員の優れた業務改善を表彰)

※3 従業員の業務改善やアイデアを提案する制度

※4 社外表彰(文部科学大臣表彰。工場等の現場において、優れた創意工夫によって職域における科学技術の進捗または改良に寄与した個人またはグループに贈られる賞。)

※5 従業員向け英会話勉強会

従業員

指標	データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	
従業員数 ^{※1}	女性	連結:JR九州グループ	人	3,243	3,058	2,931
	男性		人	12,418	11,814	11,338
	全体		人	15,661	14,872	14,269
非正規従業員数 ^{※1}	連結:JR九州グループ	人	7,232	7,209	7,343	
従業員数 ^{※2}	女性	単体:JR九州	人	1,316	1,243	1,189
	男性		人	6,701	6,404	6,122
	全体		人	8,017	7,647	7,311
新入社員採用者数 ^{※2,3,4}	女性	単体:JR九州	人	30	—	25
	男性		人	104	—	96
	全体		人	134	—	121
新入社員採用者比率 ^{※2,3,4}	女性	単体:JR九州	%	22.4	—	20.7
	男性		%	77.6	—	79.3
新卒採用者数 ^{※2,3,4} ※再掲	女性	単体:JR九州	人	30	—	24
	男性		人	104	—	69
	全体		人	134	—	93
新卒採用者比率 ^{※2,3,4} ※再掲	女性	単体:JR九州	%	22.4	—	25.8
	男性		%	77.6	—	74.2
経験者採用者数 ^{※2} ※再掲	女性	単体:JR九州	人	—	—	1
	男性		人	—	—	27
	全体		人	—	—	28
経験者採用者比率 ^{※2} ※再掲	女性	単体:JR九州	%	—	—	3.6
	男性		%	—	—	96.4
嘱託従業員数 ^{※2}	女性	単体:JR九州	人	0	0	0
	男性		人	1,364	1,424	1,409
	全体		人	1,364	1,424	1,409
従業員数に占める嘱託雇用従業員比率 ^{※2}	単体:JR九州	%	17.0	18.6	19.3	
団体交渉協定の対象となる従業員数	単体:JR九州	人	7,269	7,007	6,562	
平均勤続年数 ^{※2}	女性	単体:JR九州	年	9.7	10.9	11.8
	男性		年	14.4	14.5	14.4
	全体		年	13.6	13.9	13.9
平均年齢 ^{※2}	女性	単体:JR九州	歳	32.5	33.6	34.6
	男性		歳	42.7	43.3	43.7
	全体		歳	41.0	41.8	42.2
従業員定着率 ^{※2,5}	女性	単体:JR九州	%	95.6	94.4	92.7
	男性		%	98.8	97.5	97.0
平均年間給与	単体:JR九州	円	5,098,196	4,696,990	4,817,444	
月当たり平均残業時間	単体:JR九州	時間	11.3	11.5	12.7	
年次有給休暇の取得日数	単体:JR九州	日	15.4	14.4	16.5	
年次有給休暇の取得率 ^{※6}	単体:JR九州	%	77.0	72.1	82.4	
障がい者雇用率 ^{※7}	単体:JR九州	%	2.76	2.82	2.85	

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
管理職数 ^{※2}	女性	単体:JR九州	人	35	37	38
	男性		人	523	537	558
	全体		人	558	574	596
管理職比率 ^{※2}	女性	単体:JR九州	%	6.3	6.5	6.4
	男性		%	93.7	93.5	93.6
育児休職等取得者数 ^{※8}	女性	単体:JR九州	人	223	215	103
	男性		人	171	200	219
	全体		人	394	415	322
育児休職等取得率 ^{※8}	女性	単体:JR九州	%	100	100	100
	男性		%	55.5	76.3	96.5
介護休職取得者数	女性	単体:JR九州	人	4	2	0
	男性		人	8	8	6
	全体		人	12	10	6
特定保健指導実施率（各年10月～翌年9月）		単体:JR九州	%	77.7	76.4	—
人間ドック受診率		単体:JR九州	%	50.7	55.2	54.9
ストレスチェック受検率		単体:JR九州	%	99.9	100.0	100.0
喫煙率		単体:JR九州	%	28.6	27.5	26.9

※1 JR九州の臨時従業員数は従業員数の100分の10未満であるため集計から除外

※2 該当年度翌期の4月1日時点（2023年3月期は2023年4月1日時点）

※3 地域限定社員を除く

※4 2022年3月期は、新規採用中止

※5 従業員定着率 = 1 - (従業員離職率)

※6 年次有給休暇付与日数を20日として計算

※7 該当年度翌期の6月1日時点（2023年3月期は2023年6月1日時点）。

※8 育児休職等の算出の考え方

■ 2021年3月期及び2022年3月期

育児休職取得率 = 該当年度中に育児休職中の従業員数 / 該当年度中に子供が産まれた従業員数

■ 2023年3月期（厚生労働省のガイドラインを参照）

育児休職取得率 = 該当年度中に育児休職を開始した従業員数 / 該当年度中に子供が産まれた従業員数

ステークホルダーとの対話

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
お客さま懇談会※1	委員数	単体:JR九州	人	47	47	46
	開催数		回	9	14	17
経営陣と従業員の意見交換会開催数	開催数	単体:JR九州	回	25	23	57
	参加人数		人	380	346	1,031
労働組合との団体交渉開催数		単体:JR九州	回	126	112	142
株主総会※2	来場株主数	単体:JR九州	人	115	225	337
	議決権行使率		%	81.8	72.0	78.0
経営者と機関投資家との対話	決算説明会等	単体:JR九州	回	3	4	3
	決算電話会議		回	2	2	2
	個別ミーティング		回	98	87	92
経営者と個人投資家との対話	開催数	単体:JR九州	回	2	2	4
	参加人数		人	2,760	187	944

※1 お客さま懇談会委員（任期1年間）のご意見を頂戴する懇談会

※2 各年度にかかる株主総会を対象（2023年3月期は2023年6月23日開催の株主総会を対象）

地域社会との関わり

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
JR九州ウォーキング※1	開催数	単体:JR九州	回	58	102	121
	参加者数		人	44,848	54,358	74,831
新幹線車両基地見学会	開催数	単体:JR九州	回	0	0	2
	参加者数		人	0	0	1,699
地域貢献賞表彰者数※2		単体:JR九州	人	3	3	4
社外協力者表彰数		単体:JR九州	人	9	9	11
			団体	8	8	13

※1 1月～12月の期間で集計

※2 地域の奉仕活動や青少年育成に関する活動、地域清掃などを通じて地域に貢献している従業員に対する社内表彰

情報セキュリティ

個人情報の保護に関する基本方針

有

個人情報保護に関する基本方針

<https://www.jrkyushu.co.jp/privacy/>

ガバナンス

企業倫理

企業倫理に関する方針

有

「JR九州グループ倫理行動憲章」に含む

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/info/ethics/>

指標	データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
企業倫理委員会開催回数	単体:JR九州	回	1	1	1

コーポレートガバナンス

指標	データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
監査等委員でない取締役の任期 ^{※1}	単体:JR九州	年	1	1	1
監査等委員である取締役の任期 ^{※1}	単体:JR九州	年	2	2	2

※1 該当年度翌期の6月末時点（2023年3月期は2023年6月末時点）

取締役関連

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
取締役数 ^{※1} (監査等委員である取締役を含む)	社内	女性	人	0	0	1
		男性	人	7	7	6
		全体	人	7	7	7
	社外	女性	人	3	3	3
		男性	人	5	5	5
		全体	人	8	8	8
	独立社外 ※再掲	女性	人	2	3	3
		男性	人	5	5	5
		全体	人	7	8	8
	総計		単体:JR九州	人	15	15
役員の平均年齢 ^{※1}		単体:JR九州	歳	61.5	61.1	61.0
独立社外取締役比率 ^{※1}		単体:JR九州	%	46.7	53.3	53.3
女性取締役比率 ^{※1}		単体:JR九州	%	20.0	20.0	26.7
取締役会開催回数		単体:JR九州	回	12	13	12
取締役会出席率		単体:JR九州	%	98.9	99.0	98.9
独立取締役出席率		単体:JR九州	%	97.9	97.7	97.6
取締役会出席率75%以下取締役数		単体:JR九州	人	0	0	0

※1 該当年度翌期の6月末時点（2023年3月期は2023年6月末時点）

執行役員関連（取締役を兼務する執行役員を除く）

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
執行役員数 ^{※1}	女性	単体:JR九州	人	2	3	2
	男性		人	15	12	14
	全体		人	17	15	16
女性執行役員比率 ^{※1}		単体:JR九州	%	11.8	20.0	12.5

※1 該当年度翌期の6月末時点（2023年3月期は2023年6月末時点）

監査等委員関連

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
監査等委員数 ^{※1}	社内	女性	人	0	0	0
		男性	人	1	1	1
		全体	人	1	1	1
	独立社外	女性	人	1	1	1
		男性	人	2	2	2
		全体	人	3	3	3
	総計		単体:JR九州	人	4	4
独立監査等委員比率		単体:JR九州	%	75.0	75.0	75.0
女性監査等委員比率		単体:JR九州	%	25.0	25.0	25.0
監査等委員会開催回数		単体:JR九州	回	13	14	15
監査等委員出席率		単体:JR九州	%	100.0	100.0	100.0
独立監査等委員出席率		単体:JR九州	%	100.0	100.0	100.0
監査等委員会出席率75%以下監査等委員数		単体:JR九州	人	0	0	0

※1 該当年度翌期の6月末時点（2023年3月期は2023年6月末時点）

指名・報酬諮問委員関連

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
指名・報酬諮問委員数 ^{※1}	社内	単体:JR九州	人	1	1	1
	社外		人	5	5	5
	独立社外 ^{※再掲}		人	4	5	5
	計		人	6	6	6
指名・報酬諮問委員会開催回数		単体:JR九州	回	5	7	5
指名・報酬諮問委員出席率		単体:JR九州	%	94.4	100.0	89.2

※1 該当年度翌期の6月末時点（2023年3月期は2023年6月末時点）

報酬

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
取締役報酬（監査等委員及び社外取締役を除く）		単体:JR九州	百万円	274	264	275
取締役報酬（監査等委員）（社外取締役を除く）		単体:JR九州	百万円	31	32	33
社外役員報酬		単体:JR九州	百万円	81	82	83
計		単体:JR九州	百万円	388	379	391
会計監査人への報酬 ^{※1}	監査費	単体:JR九州	百万円	108	109	110
	非監査費		百万円	20	11	17

※1 連結子会社に対する報酬を含む

コンプライアンス

指標		データの対象	単位	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
環境関連法違反に伴う罰金件数		連結:JR九州グループ	件	0	0	0
環境関連法違反に伴う罰金額		連結:JR九州グループ	円	0	0	0
労働基準法違反件数 ^{※1}		連結:JR九州グループ	件	0	0	0
贈収賄など、腐敗取引を原因とする罰金件数		連結:JR九州グループ	件	0	0	0
贈収賄など、腐敗取引を原因とする罰金額		連結:JR九州グループ	円	0	0	0

※1 労働基準法違反を原因とする司法処分を受けた件数

独立した第三者保証報告書



九州旅客鉄道株式会社
代表取締役社長執行役員 古宮 洋二 殿

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社(以下、「SOCOTEC」という。)は、九州旅客鉄道株式会社(以下、「会社」という。)からの委託に基づき、会社が作成した主題情報(“GHG 排出量算定報告書(2022 年度)”(期間：2022 年4月1日～2023 年3月31日))がすべての重要な点において規準に適合しているかについて限定的保証業務を実施した。

1 主題情報と規準

保証対象となる主題情報は、“GHG 排出量算定報告書(2022 年度)”(期間：2022 年4月1日～2023 年3月31日)に記載された会社(日本国内 624 拠点)における日本の運営及び活動を対象範囲とする、“エネルギー起源 CO2 排出量 (Scope1, Scope2(全電源排出係数平均値適用、基礎排出係数適用))に関する報告”である。

主題情報を作成する規準は、“GHG 排出量算定手順(Ver1.0)”“省エネルギー法 定期報告書・中長期計画書(特定事業者等)記入要領”である。

主題情報 期間：2022 年4月1日～2023 年3月31日	
エネルギー起源 CO2 排出量	
Scope1 :	44,721 t-CO2e
Scope2 : 全電源排出係数平均値適用	253,617 t-CO2e
基礎排出係数適用	175,681 t-CO2e

2 経営者の責任

“GHG 排出量算定報告書(2022 年度)”(期間：2022 年4月1日～2023 年3月31日)は、会社の経営者によって作成された。

会社の経営者は、そこで行われている主張、陳述及び主張の完全性(限定的保証を提供するために従事してきた主張を含む)、報告書内の全てのデータ及び情報の収集、定量化及び提示ならびに適用した規準、分析及び公表に責任がある。

会社の経営者は、報告プロセスをサポートし、故意または過失によるものであるかどうかにかかわらず、“GHG 排出量算定報告書(2022 年度)”(期間：2022 年4月1日～2023 年3月31日)に重大な虚偽記載がないことを保証するように設計された適切な記録及び内部統制を維持する責任がある。

3 保証会社の責任

SOCOTEC の責任は、主題情報がすべての重要な点において規準に準拠して作成されているかどうかについて、限定的保証の結論を表明することにある。

SOCOTEC は、SOCOTEC の定める検証手順及び「ISO14064-3 温室効果ガスに関する主張の妥当性確認及び検証のための仕様並びに手引」に準拠し、限定的保証業務を実施した。

限定的保証業務で実施する手続は、合理的保証業務で実施する手続と比べて、その種類、時期、範囲において限定されている。その結果、SOCOTEC が行った限定的保証業務は、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。

SOCOTEC が実施した手続は、不正又は誤謬を問わず重要な虚偽表示のリスクの評価をはじめとして、職業的専門家としての判断に基づいている。SOCOTEC の結論は、会社の内部統制に対して保証を提供するものではない。

SOCOTEC は、限定的保証における結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

4 保証手続

SOCOTEC が実施した手続は、職業的専門家としての判断に基づいており、以下を含んでいるがそれらに限定されない。

- 会社が主題情報に関連して作成した方針や手続の評価
- 上記方針手続を理解するための会社担当者への質問
- 対象プロジェクトが適格性要件を満たしているかの確認
- 試算による根拠資料との照合、再計算
- 重要な仮定や他のデータに関する根拠資料の入手、照合
- 算定体制と手順の確認、データの収集及び記録管理の実施状況を確認するため、会社の本社、博多駅、千早駅、熊本総合車両所、熊本総合車両所大村車両管理室を視察した。

5 独立性と品質管理、力量の声明

SOCOTEC は、「ISO17021 適合性評価-マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項」の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。又「ISO14065 温室効果ガス-認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項」に従ってマネジメントシステムを確立している。これらは国際監査・保証基準審議会による国際品質管理基準 1 と国際会計士倫理基準審議会による職業会計士の倫理規定における要求を満たすものであり、倫理規則、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の遵守に関する文書化した方針と手続を含む包括的な品質管理システムを維持している。

SOCOTEC グループは、検査、試験、検証業務における総合的な第三者機関であり、世界の国々で品質、環境、労働及び情報セキュリティにかかわるマネジメントシステム認証業務やトレーニングサービスを実施しており、環境、社会情報のパフォーマンスデータ及びサステナビリティ報告書保証業務を行っている。SOCOTEC は、本保証業務を依頼した組織やその関連会社、ステークホルダーからも独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触がないことを断言する。

本保証業務に携わったチームは、知識や当該産業分野における経験、そして本保証業務に関する力量基準に基づき構成されていることを保証する。

6 報告書の利用

限定的保証業務における SOCOTEC の責任は、合意した条件に基づいて、会社の経営者にのみ負うものである。従って、目的にかかわらずそれ以外のいかなる個人や組織に関しても責任を負わない。

7 結論

SOCOTEC が実施した手続及び入手した証拠に基づいて、主題情報が規準に準拠して作成、開示されていないと信じさせる事項はすべての重要な点において認められなかった。

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社
執行役員社長 二場 誠吾



Seigo Futaba

2023年8月18日